

くろつち便り

今月の内容

マタバイのコウヤク外交／金曜集会(3/7)／退職者を送る会(2/22)／野草折々74(チングルマ)／講演「真実の代償」(2/24)／Series学校現場②⑨／ごてれつの独り言③⑤／共助会G G大会(2/16)

次回金曜集会は4/4日/17:30



↑会報QRコード

恥ずべき"マタバイのコウヤク"外交

(食事中の人がいたら失敬) ご存じでしょうが鹿児島弁で「マタバイのコウヤク」は、漢字で書けば「股貼いの膏薬」。標準語で「二股膏薬」とか「内股膏薬」と言うやつで、笑いの対象になる。



ゼレンスキー・トランプ決裂会談後の石破総理の反応は、「意外な展開」「感情的なやりとり」と指摘し「思いやりと忍耐」の大事さを語り「主要7カ国の結束」を主張。そりゃ

ごもつともだが、一体どちらの側に付くんだと思っていた。それが今月3日には「どちらの側にも立たない」と答え自己の「股貼いの膏薬外交」を自ら露呈した。同じ日本人として恥ずかしくなる。それに比し英仏などの元首はトランプ批判を明確にしてウクライナ支援を宣言している。今ここではウクライナ支援がどうのこうのという以前の問題だ。布施祐仁氏は講演(3頁目参照)の最後で「自主外交」の必要性を述べた。尾を振る犬は

叩かれず、という諺があるが総理の対米従属は今に始まったことではない。

今月もそうで、3日からの核兵器禁止条約の締約国会議への対応に見られる。一方では被団協にいい顔をしながら、唯一の被爆国日本で、しかも被団協のノーベル賞受賞という、対米従属を脱却する絶好の機会にも関わらず出席を見送った。

アリストテレスの名言”誰に対しても友だちの人は誰の友でもない”というのがあるそう。日本語の八方美人だが、今の日本外交を表現するに言い得て妙で、逆に苛立ちを感じる。(樋園)

九条の会、意見広告

’05年に「かごしま九条の会」ができていますので、今年は誕生から20年になるのだろうか。同会が毎年実施している南日本新聞への「9条を守り活かそう」の意見広告の募集が始まっています。

松下徳二さんが一括して事務局に持参しますので、まずは一報を。

Tel 090-1923-7306

個人1口1000円以上

団体1口5000円以上

締切 4月15日



学校現場からシリーズその29 寿北小 関下俊郎 教職員の不祥事に「勤務規律の個人面談」実施について、校長からの突如の提案にみんな困惑した。この忙しい時期にどんな面談をするつもりなのか、職員一人一人に、「悪いことはしていませんか？」とでも聞くのだろうか。実施についての疑問は投げかけたが面談計画を立てるということになった。2月に「人事評価の個人面談」が終わったばかりで、職員からも不満の声が聞こえてきた。そして先日、その面談を受けた。内容は、交通ルール厳守や公金の取り扱い、ハラスメントにかなすることなど数項目に答えるものだった。「そんなことより、なぜ教職員不祥事が多いのか考えるべきでしょう。個人的な問題だけではな

いと思いますよ。」と言いつつ、勤務状況も含め職場の環境について市教委に訴えることの大切さを話した。本年度もいよいよ終盤を迎え学校内の空気も緊迫感を増してきたように感じる。そんな中でも毎日欠かさず息抜きをする職員が2人いる。私ともう一人、再任用の職員である。いつも職員室の一角でお茶を飲みながら「ふっ、あいたよっ。」が口癖になっている。2時間目の休みが昨年分というわずかな合間を見計らっての「お茶タイム」である。本校は始業開始3分前に予備チャイムの音楽が流れるので、カップにコーヒーを注いだかと思えば予備チャイムの音楽が流れることも少なくない。それでもコー

ヒーを飲みながら時間いっぱい語って教室へ向かう。業務のこと子どもたちのこと、そして保護者のこと、「若いころは保護者に助けられたことがいっぱいあったな」と、お互いを振り返りながら昔話の繰り返しだ。子どもたちが登校してから昼休みの休憩時間まで一息もつかず、張り詰めた勤務の連続だからどこかしらストレスを抱えてしまうのかもしれない。もちろん昼休みも一息つける時間ではない。忙しい中でたった数分間のコーヒータ



原発を廃炉に

3月7日イベント広場で金曜集会、いつもの仲間が集まり街行く人に脱原発や反戦を訴えた。

先月21日川内原発差止訴訟は敗訴。弁護団森雅美共同代表は3月5日の記者会見で「3.11の原発事故の教訓はどうなったのかと思わざるを得ない内容の判決」と指摘。同日控訴し、舞台を福岡高



裁宮崎支部へ移した。

大飯原発3・4号機を止めた元裁判長樋口英明氏は、原発の仕組みは単純だが「止める・冷やす・閉じ込める」の安全3原則を守ることが絶対に必要だ。老朽原発は老朽化した旅客機に似て、想定外のトラブルが次々に起きることが想定される、と述べている。（「原発と司法」岩波ブックレット）福島原発事故から始まった金曜集会、まだまだ続きます。4月か

らは17時30分です。

連絡

くろつち会総会・歓迎会が6月7日に予定されています。詳細は後日お知らせします。

お悔やみ申し上げます

最近永眠された方々のご芳名です。

松浦 健様 1月30日 95歳
謹んでご冥福をお祈り致します。

ぶっさ言う人 ぐりんの独り言

35

ヘチマ野郎万歳！

昔、ヘチマを題材にした理科授業の導入で糸瓜（いとうり）がなぜヘチマになったのか語源をイロハ歌から話すと子ども達も話に乗ってきたことを記憶している。数日後、単元の授業の最後には、ヘチマ料理を食べてもらった。（料理担当の妻に感謝）

さて、清水ひさしの詩集「かなぶん」（四季の森社）に「鹿児島に出てこい」という作品が載っている。東京の親しい作家仲間のNに呼びかけている文体で、

ヘチマの若い実はおいしいと言うと/鹿児島はニンゲン/タワシを食うのかと言う/東京の友 Nよ（中略）ヘチマと言えばタワシしか頭に浮かばないおまえみたいな奴を/鹿児島ではヘチマ野郎と呼ぶんだよ（後略）

二人の親しい人間関係をユーモアで包み込んだ作品だ。

「糸瓜野郎」というのは、ぶらぶらして何の役にも立たない男を罵る言葉（大辞泉など）なので、語り手の「ヘチマ野郎」というのはちょっと言い過ぎの感もあるが、そういう意味で使っているようには思えない。寧ろ、二人の人間関係が伝わってくる。

我が身のことを考えるに、自分は本来の「糸瓜野郎」じゃないかと思ってしまう。日がな一日パソコンの前に座って、あれこれ時間を費やしているからだ。この会報もそういう中で出来ているから、全く非生産的な時間ばかりでもないのだが、「糸瓜野郎」と言われても仕方ない。

ところで哲学者鷲田清一は僕と同年だが、著書「人生はいつも ちぐはぐ」の中の「ぐずぐずする権利」の項で、「老

いというのは、独りでできることがしだいに減ってゆく時期である」と書いている。歩くのがきつくなったり、長時間まっすぐ立てなかったり、僕には思い当たるところが多すぎる。当たり前のことを哲学者が語ると、う〜んと考え込んでしまう。

更に続けて「ここにいていいのだろうか」という「存在の資格」へと思考を広げ、この社会が「何ができるか」「何かしたか」で人の存在価値を測る社会だとして、「いるだけでいい」とはなかなか言いにくい社会だ、それは寂しい社会だと述べている。裏を返せば、ヘチマ野郎、大いに結構ということだ。

ヘチマ野郎万歳！
くろつちのみなさん、大いに「ヘチマ野郎」になりましょう。（樋園）



野草折々-74-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

チングルマ
（バラ科）



本州北部、北海道の高山帯に分布する。花は夏に咲き、花後、花柱が長く伸びて羽毛状になる。

2000年9月ごろ、北海道旅行のとき
大雪山系旭岳で撮影

共助会GG大会

2月16日は朝から雨が降ったりして、グラウンドゴルフはちょっと無理だろうと思っていたが午後は上天気。5日前の打合会で矢野務気象予報士が予想していたような。大会は予定通り実施できました。

鬼ヶ原建一運営委員長



球 ↓

↑GGデビューの一打

を12チームに編成。笛の合図で各ホールから一斉に球音が響いてきました。



↑現職4名と一緒に記念撮影

結果以上に交流の場としての意義が感じられました。(樋園)

時折「おおっ」「ああ～」などの歓声が会場に響きます。

休憩を挟んで約2時間後、みんな満足顔で事務所前に集まってきました。結果は右の通り。岩山さんは初優勝かな？

閉会挨拶～市之瀬治美さん



若い先生を見ていて最初は教えていたけど自分の方がスコアが悪くなって、すごい焦りが出てきました。だけど楽しく出来ました。また来年度も色んな共助会の行事、ご協力をお願いします。



今日は天気が心配されましたが、暑くなるぐらいになりそうですので、着る物を調整しながらプレイしていただけたらと思います。

矢野務事務局長

全く初心者の方の現職4名の女性も参加しています。周りの方々、ご指導よろしくお願いします。各ホール4打迄です。

参加者は昨年より10名程度少なかったようですが、47名

結果は次の通り。(敬称略)

優勝 岩山淳子 36打
準優勝 松田裕一 39打
3位 中之浦慶二 40打
4位 松下徳二 40打
5位 二木洋子 40打
BB賞 松崎真理華 62打
ホールインワン賞

岩山淳子②、米良晶子

野下八千代②、松下徳二

中之浦慶二②、長崎雄二

松田裕一②、石倉俊一

(共助会ルールで、打数が同じときは、ホールインワンの数、それも同じなら2打の数、年齢などで決定する)

講演：従属の代償

2月24日県民交流センターで「憲法壊すな・戦争法廃止!かごしまの会」主催の講演会があった。講師はジャーナリストの石破茂(元平和新聞編集長)。

幸いオンラインで参加できた。(会場まで行くのが難儀なので)

この日は偶然か主催者の意図か不明だが、ウクライナ侵攻の始まった日でもあった。講演は力量不足の僕には問題が大きすぎてこの紙面の小枠での報告は無理だが、一部だけでも記してみる。

石破茂は以前、一方では憲法9条2項削除と国防軍明記を主張して、他方では米軍基地を条約上の義務としているのは日本だけだ、義務として外国軍駐留を許している国のどこが独立国なのでしょう、か、と書いているという。しかし首相になりトランプとの会談後、力強く揺るぎない日米同盟』のさ

らなる強化を主張している。

台湾問題や中国の覇権政策に対し、2020年、印度太平洋軍が米議会に提出した報告書に、第1列島線上(右図)に對艦・對空ミサイル



を有する統合部隊を配備し「精密打撃ネットワーク」を構築する必要がある、と明記されている。

その方針に基づき着々と中国敵視政策が進行して、奄美や石垣島、馬毛島等々の軍事基地化、それに関連してのさつま町をはじめとする弾薬庫計画だ。

長射程ミサイルの開発または輸入、それに伴いそれを貯蔵する弾薬庫整備。沖縄本島勝連分屯地にも陸上自衛隊の地対艦・地対空ミサイル部隊が配備され、中国軍艦船の接近を阻止する「南西の壁」完成(次段右上図)。

米海兵隊の有事シュミレーシヨ

ンでは犠牲必至なので、米としてはできるだけ自衛隊にやらせたい。林吉永・元空

将補が「米国のシステムで戦争することになるし作戦の指揮も米軍が執ることになる」と述べていることと合わせ考えると、日本の犠牲は甚大になるはず。

台湾国防部の報告書や米軍参謀本部長の公聴会での証言や米中の経済・環境面での相互依存関係などから、**侵攻は中国にとって自殺行為**だし、米中戦争の可能性は低いというのが危機は増大の一途だ。

昔石橋湛山は「対米一辺倒は危険」と語り、外交にも力を注ごうとした(道半ばで脑梗塞に)。今や日本は「対立を克服するための自主外交」が必要で、緊張緩和を望んでいるASEAN諸国と組めば、大国はグローバルサウスを無視できないはずだ、と言う。(樋園)



↑南西の壁

退職者を送る会

2月22日、昨年度或いは今年度退職の9名の先生方を迎えて「送る会」がさつき苑であり、くろつちからも9名参加しました。

川野小百合さん



以前は育児休業は教員だけでした。組合のおかげで皆が取れるようになり、2人目出産の時、県で私が初めて取りました

原園佳美さん



初任が離島の山で中学校で後はずっと肝属でした。「仰げば尊し」に反対したことや混合名簿の問題に取り組みました。

一松井八さん



教員を長く続けてきたのは第1に子供とのじゃれ合いが好きだから、第2に組合で仲間がいるということです。2校目の怖い先生に「結婚して2週目に組合に入ったっど」と言われて入りました。

上田富美さん



嫌になったらやめてもいいんだと言われて断り切れず組合に加入。私は動物占いは羊で、羊の習性は群れたがるなんです。

福盛みゆきさん



採用年に男女均等雇用法が成立したのに、先輩から言われて朝のお茶くみを3年間続けました。組合では力量研とかで色々学ばせていただきました。

福永珠美さん



はじめての学校へも、組合というつながりがあって不安なく赴任できました。みなさんには感謝しかありません。

下原口謙二さん



中種子養護にいた頃、選挙用看板をハンマーでしっかり立てたところで、パトカーと出会って慌てたことがありました。

山本利恵子さん



組合員でよかったと思う点は、学習したいと思ったら県や九州、全国で多くを学べたことです。また新しい赴任地では組合の先生に聞いて助けられました。

二宮くみ子さん



忙しい中、分会旅行もあって楽しい思い出です。子どもの対応に迷っていたとき、文化研究所の相談室を紹介されました。

ありがとう
そしてこれからも
退職者を励まし送る会 鹿教組大隅支部

くろつち会に大歓迎



カンパイ!

くろつち会松尾会長

多忙を極めて大変な中、最後まで組合員であってくれたことに敬意を表します。退職後は若い皆さんにくろつちに加入してくださることを期待しております。



遠く薩摩半島からも駆けつけて、久しぶりの再会です。



♪かがや〜く♪あさの〜♪



ガンバロウ!